【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公開番号】特開2001-315380(P2001-315380A)
【公開日】平成13年11月13日(2001.11.13)
【出願番号】特願2000-136684(P2000-136684)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ４１Ｊ　2/44
　Ｂ４１Ｊ　2/45
　Ｂ４１Ｊ　2/455
　Ｇ０２Ｂ　3/00
　Ｈ０１Ｌ　33/00
【ＦＩ】
　Ｂ４１Ｊ　3/21　　Ｌ
　Ｇ０２Ｂ　3/00　　Ｂ
　Ｈ０１Ｌ　33/00　　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月8日(2003.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光に感度を有する記録媒体面上に画像を形成する画像形成装置に用いられ、且つ、アレイ状に配列した複数のロッドレンズと、該複数のロッドレンズ間に充填して、該複数のロッドレンズを固定する不透明な物質と、該複数のロッドレンズのアレイ方向の側面を抑えた側板と、を有するロッドレンズアレイにおいて、該ロッドレンズの周囲の表面を波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光を吸収する特性をもつ吸収材料で塗装され、
該吸収材料は、カーボンブラック又はナフタロシアニン化合物を含有した黒色塗料であることを特徴とするロッドレンズアレイ。
【請求項２】
請求項１記載のロッドレンズアレイと、複数の発光素子をアレイ状に配列した発光手段と、波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光に感度を有する感光体と、を備え、該発光手段から画像信号に応じて発光した波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光を該ロッドレンズアレイにより感光体面上に結像させ、該感光体面上に画像を形成することを特徴とする画像形成装置。
【請求項３】
前記発光手段はＬＥＤアレイであることを特徴とする請求項２記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記感光体は有機半導体であることを特徴とする請求項２又は３記載の画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１７】
【課題を解決するための手段】
請求項１の発明のロッドレンズアレイは、
波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光に感度を有する記録媒体面上に画像を形成する画像形成装置に用いられ、且つ、アレイ状に配列した複数のロッドレンズと、該複数のロッドレンズ間に充填して、該複数のロッドレンズを固定する不透明な物質と、該複数のロッドレンズのアレイ方向の側面を抑えた側板と、を有するロッドレンズアレイにおいて、該ロッドレンズの周囲の表面を波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光を吸収する特性をもつ吸収材料で塗装され、
該吸収材料は、カーボンブラック又はナフタロシアニン化合物を含有した黒色塗料であることを特徴としている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
請求項２の発明の画像形成装置は、
請求項１記載のロッドレンズアレイと、複数の発光素子をアレイ状に配列した発光手段と、波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光に感度を有する感光体と、を備え、該発光手段から画像信号に応じて発光した波長７００ｎｍから１０００ｎｍまでの光を該ロッドレンズアレイにより感光体面上に結像させ、該感光体面上に画像を形成することを特徴としている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
請求項３の発明は請求項２の発明において、
前記発光手段はＬＥＤアレイであることを特徴としている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
請求項４の発明は請求項２又は３の発明において、
前記感光体は有機半導体であることを特徴としている。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
本実施形態ではこのロッドレンズ１の周囲の表面１ａ（入射面１ｂ、出射面１ｃ以外）を近赤外光を吸収する特性をもつ材料（吸収材料）として、例えばカーボンブラックを含有した黒色塗料にて塗装（近赤外光吸収塗装）３としている。このカーボンブラックを含有した黒色塗料は光プリンター用のＬＥＤの発振波長の主流域である７００ｎｍから８００ｎｍ付近の近赤外光に対して十分な吸収特性を有している。